



宣言 私たちの横須賀。

令和八年 横須賀市職員 年頭あいさつ

まずは、心からの感謝を。

年末年始も市民生活を支えるため、消防や水道をはじめ、普段と変わらずに業務に従事してくれた職員がいます。皆さんのおかげで、市民は穏やかに新年を迎えることができました。本当にありがとうございました。

去年は、物価高やエネルギー価格の高騰、度重なる自然災害など、市民生活を取り巻く環境が大きく変化した一年でした。不安を抱える市民の最前線で、最後まで向き合い続けてくれたのは、職員の皆さん一人ひとりです。

すべては、

「横須賀に住んで良かった」

その一言のために。

しかし、反省があります。

これまで様々な施策や取組みを進めてきたにも関わらず、その成果や意義が、市民の皆さんに十分伝わっていなかった。

どれほど良い仕事をして、
伝わらなければ、
存在しないのと同じだ。

だからこそ、
職員一人ひとりが、
「横須賀の
広告塔」になる。



「広告塔」になるとは、問い続けること。

今のやり方のままで本当に良いのか？

なぜこの仕事が必要なのかを、
自分の言葉で説明できるか？

さらに工夫できる余地はないか？

この姿勢が、行政への信頼を高め、市民の「横須賀に住んで良かった」に繋がる。

そして何より大切なのは、誇り。

- 自分自身が、横須賀というまちを好きであり、
- 横須賀市役所という組織に愛着を持ち、
- その役割に誇りを感じているか。

**私たちが胸を張って語れるまちであってこそ、
初めて市民も誇りを持つことができる。**

大袈裟ではなく、

「横須賀を独立させる。」

そのくらいの気概と覚悟で。

私たちの物語は、DNAに刻まれている。

都市のDNA

浦賀地区再開発： 「第二の開国」

浦賀の造船の歴史から連なる、
工業都市・港湾都市としての横
須賀の歩み。まちがどう生まれ、
発展してきたかを物語る。



市民のDNA

大矢部弾薬庫跡地 公園整備

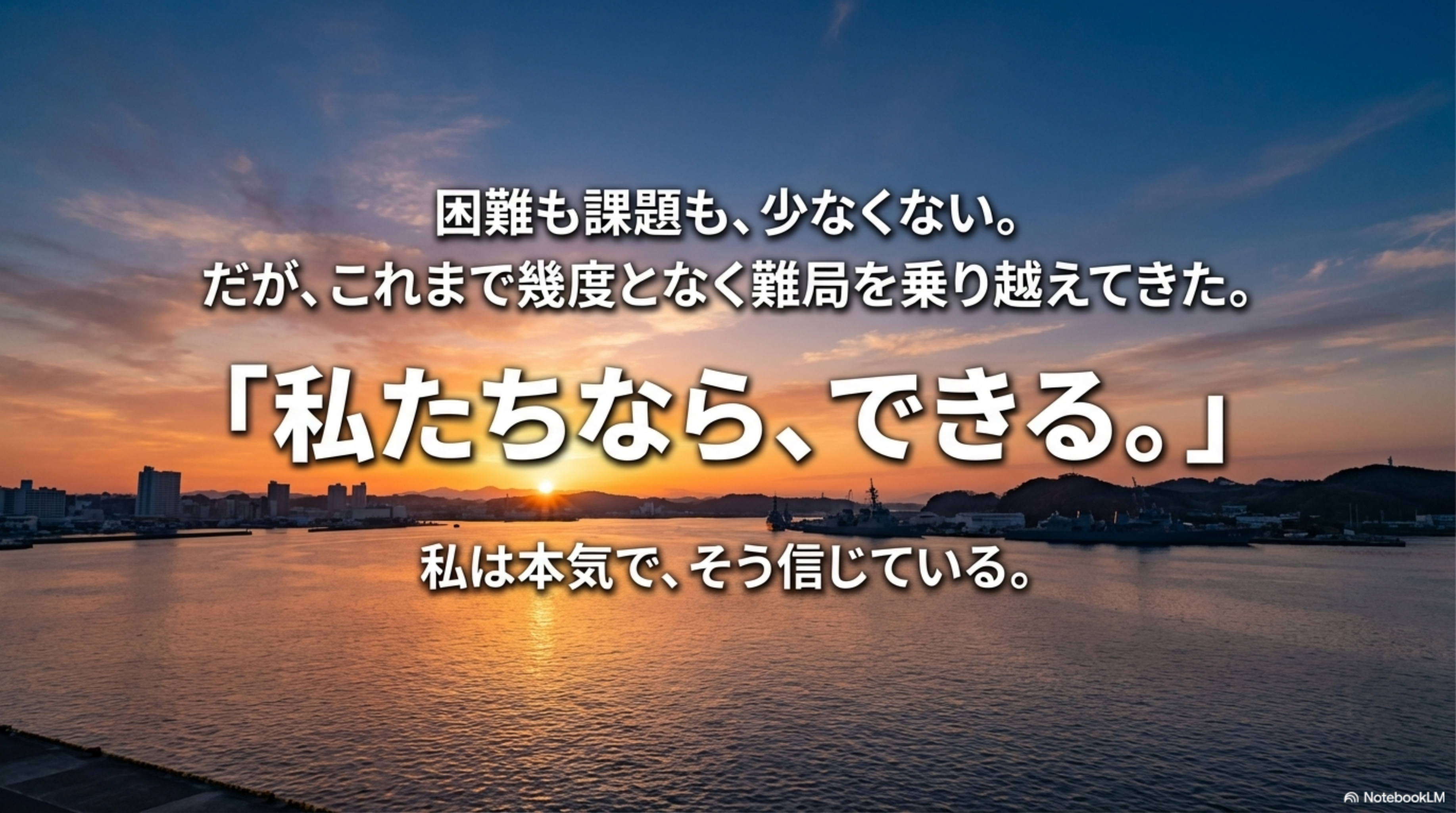
横須賀のルーツ、三浦一族ゆかりの
地。横須賀に生きる市民のアイデン
ティティを象徴する特別な場所。

変化の時代を、先駆者として。

社会は、私たちが予想できないスピードで
変化し続ける。

私たちは、その変化に決して遅れをとらない。
むしろ先駆者として、変化を力に変え、未来を
加速させる。





困難も課題も、少なくない。
だが、これまで幾度となく難局を乗り越えてきた。

「私たちなら、できる。」

私は本気で、そう信じている。

**さあ、三十七万人の市民のために。
誇りある横須賀の未来を、
一緒につくっていきましょう。**

皆さん、今年もよろしくお願いいたします。